

所属名	事務事業名	ページ番号
交通政策課	公共交通維持確保推進事業	2
交通政策課	佐賀空港利活用促進事業	3
交通政策課	北部地域交通運行経費	4
交通政策課	公共交通維持確保推進事業（新型コロナウイルス感染症対策）	5
交通政策課	自動車運送事業会計関係事業	6
交通政策課	赤字路線バス運行事業	7
交通政策課	都市間バス路線等運行対策事業	8
交通政策課	廃止路線代替バス運行事業	9

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	公共交通維持確保推進事業	事業期間	平成 31 ~	年度
担当部署・係名	交通政策課	担当課長名	大塚 智樹	
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち		
	施策	11市民生活を支える総合交通体系の確立		
	基本事業	生活交通の維持・確保		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	公共交通の果たす役割が大きくなる中、運転士不足などから、路線バスを維持確保していくためには、生産性の向上が必要である。そのため、バス事業者と連携して路線バスの利用を促進していく。公共交通空白地域等においては、公共交通検討協議会を開催し、地域が主体となって地域のニーズに沿った公共交通を導入することで、公共交通空白地域を解消し、地域福祉の向上を図る。				
事業の対象者	市民、市内のバス事業者				
令和2年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・富士町コミュニティバスで使用する車両5台の購入及び既存車両1台の改造 ・春日北校区において、地域内公共交通の導入や利用促進について話し合うため、地域検討会にファシリテーターを3回派遣 ・収支が厳しい路線バスの生産性向上を図るため、市交通局に対し利用促進に係る経費の一部補助 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	35,903				
うち佐賀市の負担額	11,303				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
路線バス利用者数						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3,150	4,025	4,041	4,058	4,074		

成果指標②						単位
公共交通検討協議会開催数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	5	7	7	7		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
路線バスに関しては、佐賀市バス路線マップを作成し、バス路線網を分かりやすく提示するとともに、佐賀県を舞台にしたTVアニメ「ゾンビランドサガ」とコラボしたラッピングバスを運行する等、バスの利用者を増やすきっかけづくりを継続して行う。また、公共交通空白地域等に関しては、「地域内交通活性化モデル地区」を募集するとともに、応募がない場合は実際に地域に出向き、地域内交通の導入ガイドラインの説明を行うなどして、モデル地区の制度をPRする。令和2年度に応募があった春日北校区は、今後本格運行に向け話し合いを進めていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀空港利活用促進事業	事業期間	平成 10 ~ 年度
担当部署・係名	交通政策課	担当課長名	大塚 智樹
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	11市民生活を支える総合交通体系の確立	
	基本事業	広域交通の利便性の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	九州佐賀国際空港活性化推進協議会等の取り組みに参画し、事業所・県人会員等への営業、イベント等でのPR、修学旅行誘致事業等を通じて、佐賀空港の活性化を推進するための活動を行う。				
事業の対象者	市民				
令和2年度主な活動実績	協議会理事会、総会への参加（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面審議） ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で運休や減便が続き、移動自粛・制限に伴い、協議会として事業の見送りや縮小が生じた。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,000				
うち佐賀市の負担額	1,000				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀空港利用者数						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
113	113	113	113	113		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で運休や減便が続き、利用者が落ち込んだ。新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、復便を目指す九州佐賀国際空港活性化推進協議会等の取組に参画し、イベント等でのPRを通じて、佐賀空港の活性化を推進するための活動を行う。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	北部地域交通運行経費	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	交通政策課	担当課長名	大塚 智樹
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	11市民生活を支える総合交通体系の確立	
	基本事業	生活交通の維持・確保	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	過疎地域などを抱える北部地域は人口が減少しており、民間バス会社では路線バスの採算が見込めない。そのため、市が三瀬地区コミュニティバスの運行を運行業者に委託するとともに、富士町コミュニティバス及び松梅デマンドタクシーの運行欠損額相当分の補助を行うことで、高齢者や児童等の公共交通の確保及び地域福祉の充実を図っていく。				
事業の対象者	市民、タクシー業者				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・三瀬地区において市町村運営有償運送としてコミュニティバスを運行 ・富士町コミュニティバスの運行事業者及び松梅デマンドタクシーの運行事業者に対する欠損補助 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	56,770				
うち佐賀市の負担額	50,490				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
コミュニティバス及びデマンドタクシー利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
46,307	46,886	47,121	47,357	47,563		

年度	目標	実績
R2	46,886	46,307
R3	47,121	
R4	47,357	
R5	47,563	
R6		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
地域の公共交通に関する時事や利用実績などを掲載したニューズレターを、定期的に運行地域に全戸配布することで、住民に対して地域の公共交通を広く周知し、利用促進を図っていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	公共交通維持確保推進事業（新型コロナウイルス感染症対策）	事業期間	令和 2 ～ 令和 3 年度
担当部署・係名	交通政策課	担当課長名	大塚 智樹
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	11市民生活を支える総合交通体系の確立	
	基本事業	生活交通の維持・確保	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	新型コロナウイルス感染症の拡大により利用者数が激減した路線バス、タクシー事業者を支援するとともに、バス事業者と連携して利用促進を行うことで、市民生活に必要な公共交通の維持を図る。				
事業の対象者	バス・タクシー事業者				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・車両保有数に応じた公共交通運行維持特別支援金の支出 バス会社5者、タクシー62者 ・令和2年4～5月の佐賀駅バスセンター乗降場使用料の半額補助 バス会社6者 ・令和2年11月に佐賀市内で路線バスを利用された方に対し、nimocaポイント20%を還元したバス会社に対する補助 44,590件 ・ワンコインnimocaを購入・更新された方に千ポイントを付与 305件 ・飛沫感染予防用の仕切り板を設置した交通局に対する補助 リムジンバス5台 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	186,355				
うち佐賀市の負担額	0				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
路線バス利用者数						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3,150	4,025	4,041	4,058	4,074		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
佐賀市バス路線マップを作成し、バス路線網を分かりやすく提示するとともに、佐賀県を舞台にしたTVアニメ「ソニランドサガ」とコラボしたラッピングバスを運行する等、バスの利用者を増やすきっかけづくりを継続して行う。また、令和3年9月まで引き続きワンコインnimocaを購入・更新された方に千ポイントを付与することで、現金接触の機会を減らしながら、利用促進を行う。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	自動車運送事業会計関係事業	事業期間	平成 9 ~ 年度
担当部署・係名	交通政策課	担当課長名	大塚 智樹
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	11市民生活を支える総合交通体系の確立	
	基本事業	生活交通の維持・確保	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民福祉の向上及び市民の日常生活における交通手段を確保するため、経営が厳しい交通局に対し補助金、繰出金等を支出することにより、経営の健全化を図る。				
事業の対象者	市民、交通局				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 生活交通路線協調補助（10系統） バス停上屋設置補助（3基分） 超低床型バス導入補助（新車3台分） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	164,821				
うち佐賀市の負担額	164,821				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
市営バスの利用者数						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,428	3,303	3,319	3,336	3,353		

成果指標②						単位
市民一人当たりの市営バスの利用回数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
10.4	14.2	14.3	14.4	14.5		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が落ち込んだ。事業の回復に向け、交通局が令和元年6月に策定した「佐賀市営バス事業新経営計画」に基づいて実施する増収対策、サービス向上対策及び節減対策の進捗状況を見極め、必要に応じて意見を述べることで、現状のバス路線を維持することを基本としながら事業費の増大を抑える。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	赤字路線バス運行事業	事業期間	平成 18 ~ 年度
担当部署・係名	交通政策課	担当課長名	大塚 智樹
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	11市民生活を支える総合交通体系の確立	
	基本事業	生活交通の維持・確保	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	交通局の経営効率化を進める必要がある一方、高齢化社会の進展や運転免許証の自主返納者数の増加を踏まえると、地域における生活交通路線を維持することも必要である。そのため、現在交通局が運行している路線のうち、赤字幅の大きい8路線を市の交通政策路線に位置づけて運行することにより、公共交通サービスの維持と市民の移動手段の確保を図る。
事業の対象者	市民
令和2年度主な活動実績	交通局の路線のうち、赤字幅が大きい8路線について、市の交通政策による路線として運行した。

決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	70,691				
うち佐賀市の負担額	70,691				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
赤字8路線の利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
337,439	339,126	340,822	342,526	344,239		

成果指標②						単位
						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
交通局が令和元年6月に策定した「佐賀市営バス事業新経営計画」に基づいて実施する増収対策、サービス向上対策及び節減対策の進捗状況を見極め、必要に応じて意見を述べることで、現状のバス路線を維持することを基本としながら事業費の増大を抑える。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	都市間バス路線等運行対策事業	事業期間	平成 22 ~ 年度
担当部署・係名	交通政策課	担当課長名	大塚 智樹
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	11市民生活を支える総合交通体系の確立	
	基本事業	生活交通の維持・確保	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	利用者の減少により路線の維持が困難になっている民間の乗合バス事業者に対し、予算の範囲内において補助を行い、関係自治体等と協調して広域生活圏の機能保持を図るとともに、交通弱者をはじめとする市民の移動手段の確保を図る。				
事業の対象者	民間バス事業者				
令和2年度 主な活動実績	祐徳バス（佐賀、武雄）、昭和バス（古湯北山、神埼三瀬、上合瀬、佐賀唐津、中極）、西鉄バス（沖新、江見）、ジョイックス交通（三瀬神埼）各線の欠損補助				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	95,982				
うち佐賀市の 負担額	75,082				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
民間事業者補助対象路線の乗車人数						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
721	721	721	721	721		

年度	目標	実績
R2	721	721
R3	721	
R4	721	
R5	721	
R6	721	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	
R4	0	
R5	0	
R6	0	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が落ち込んだ。新型コロナウイルス感染症対策を各事業者と連携して取り組むとともに、利用者を維持するため、各路線沿線市町と協調して利用促進に取り組む。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	廃止路線代替バス運行事業	事業期間	昭和 59 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	交通政策課	担当課長名	大塚智樹
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	11市民生活を支える総合交通体系の確立	
	基本事業	生活交通の維持・確保	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	民間バス路線が廃止となった富士町において、運行欠損相当額の補助を行うことにより路線バスを運行し、住民の移動手段の確保を図る。				
事業の対象者	富士地区の住民				
令和2年度 主な活動実績	富士町における廃止路線代替バス9系統への欠損補助				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	8,389				0
うち佐賀市の 負担額	8,389				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
廃止路線代替バス利用者						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
13,842						

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
昭和バスの廃止に伴い、令和2年度をもって事業廃止。運行を担っていた昭和バスが路線バス運行を廃止したため令和2年度をもって事業廃止。今後は、別事業にて富士町コミュニティバスの運営等を行うことで、可能な限り公共交通空白地域を解消する。